

経営比較分析表（令和3年度決算）

大阪府摂津市 フォルテ摂津自動車駐車場

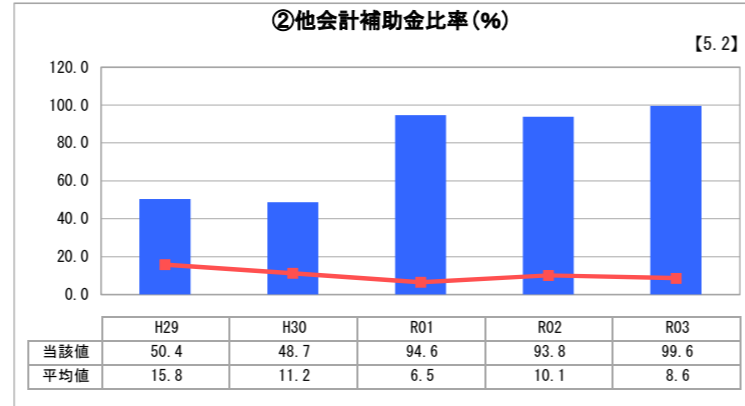
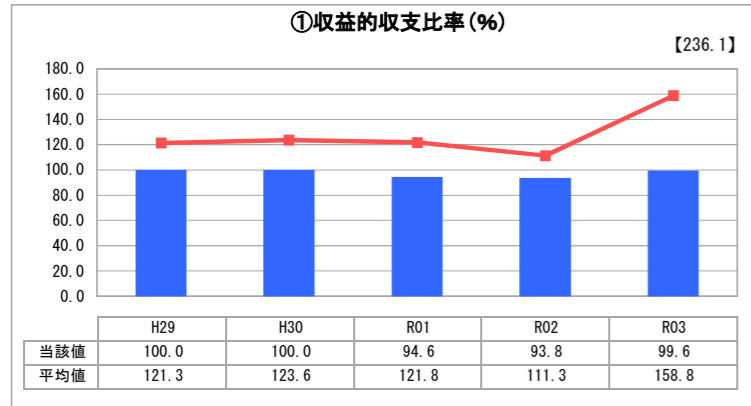
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式 広場式	28	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,072
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
190	200	利用料金制

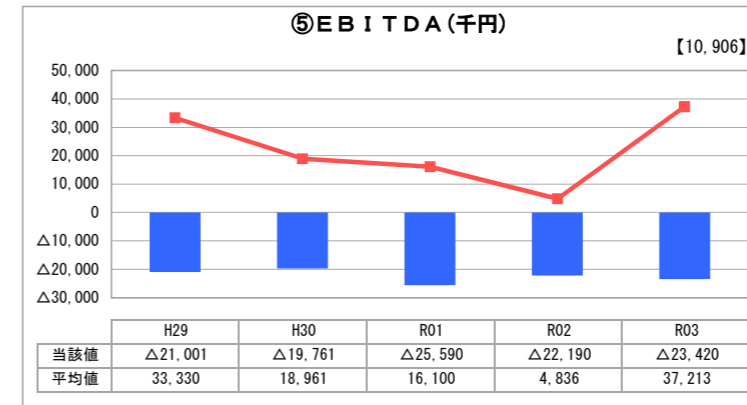
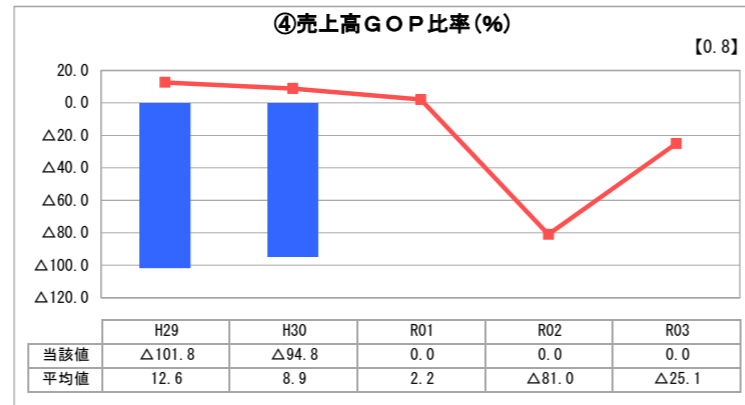
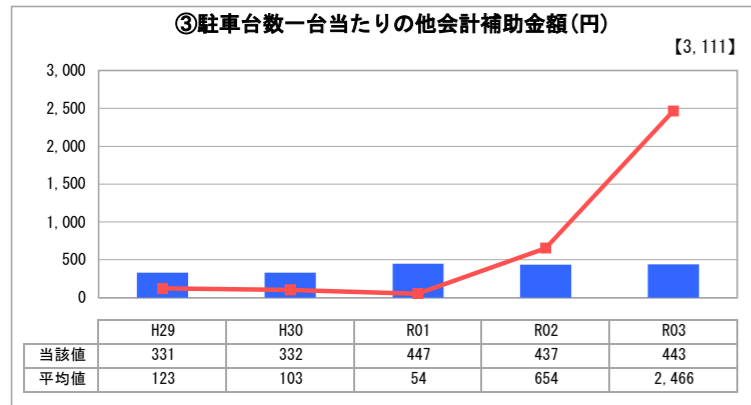
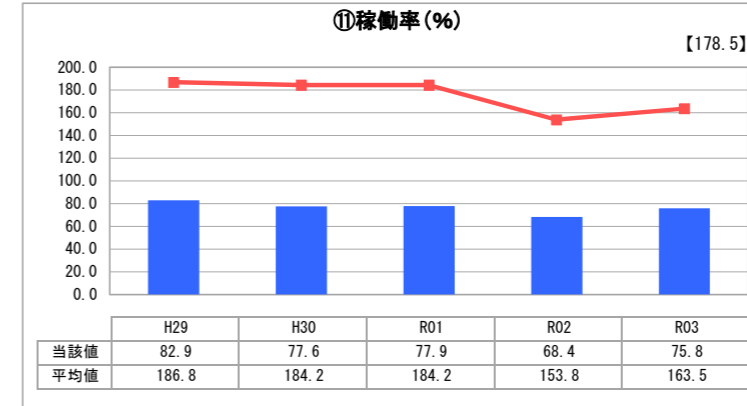
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

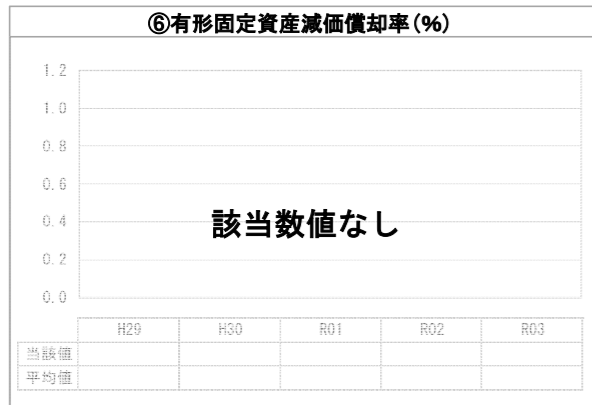
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

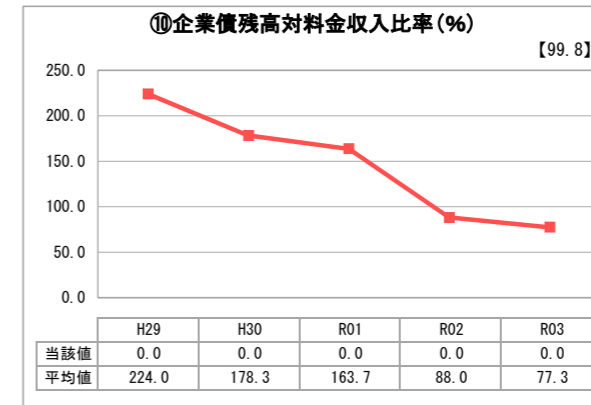
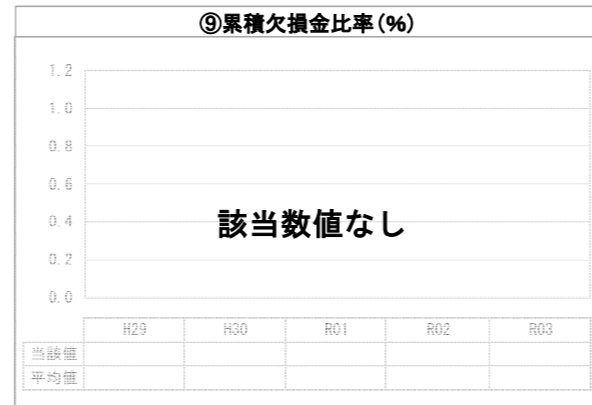


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

759



分析欄

1. 収益等の状況について
 平成24年度に収入の改善の為、時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を実施した。また、平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の収益的収支比率は100%となったが、令和元年度以降は利用料金制の導入により100%を満たさなくなった。

2. 資産等の状況について
 平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の企業債残高対料金収入比率は0となっている。

3. 利用の状況について
 類似施設平均値を大きく下回る稼働率となっている。原因として、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。

全体総括

他会計からの繰入金に頼り、駐車場収入の赤字を補填している状態が続いているため、今後は管理費の見直しを図るといった経営改善の取り組みを進めていく必要がある。

経営比較分析表（令和3年度決算）

大阪府摂津市 南摂津第1自動車駐車場

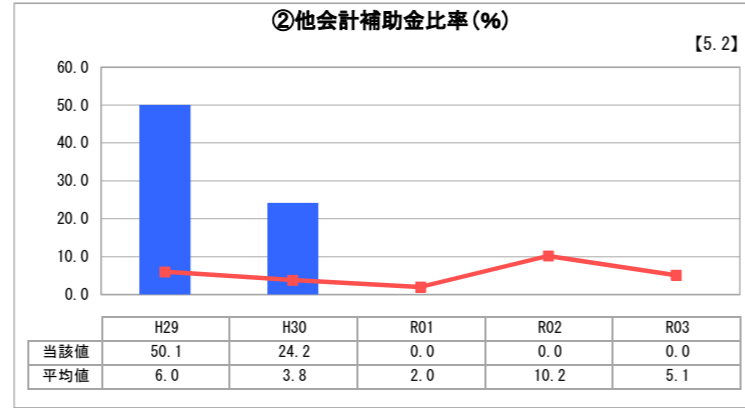
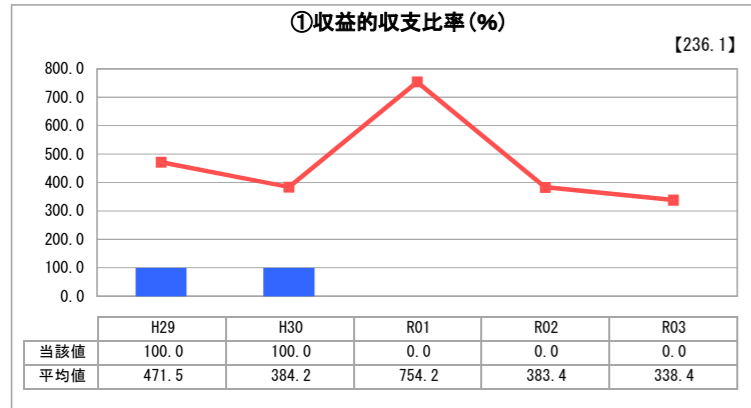
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 3 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	23	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,372
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
127	200	利用料金制

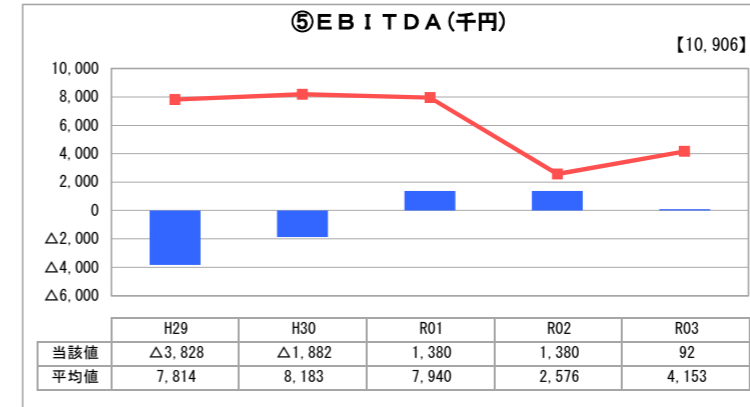
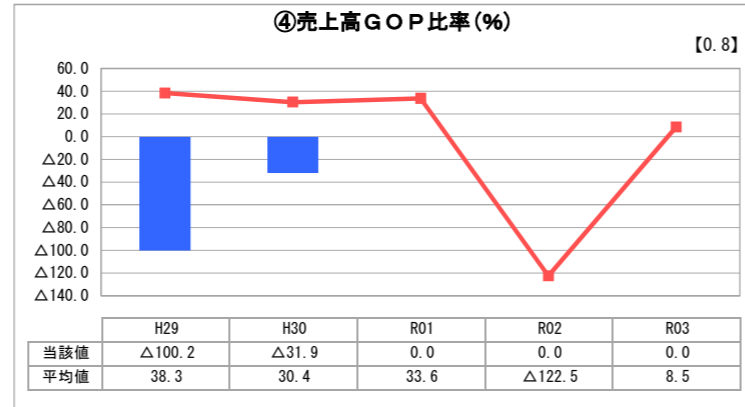
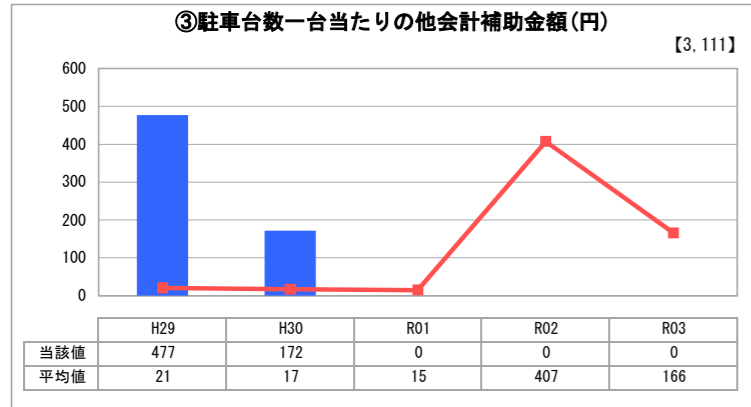
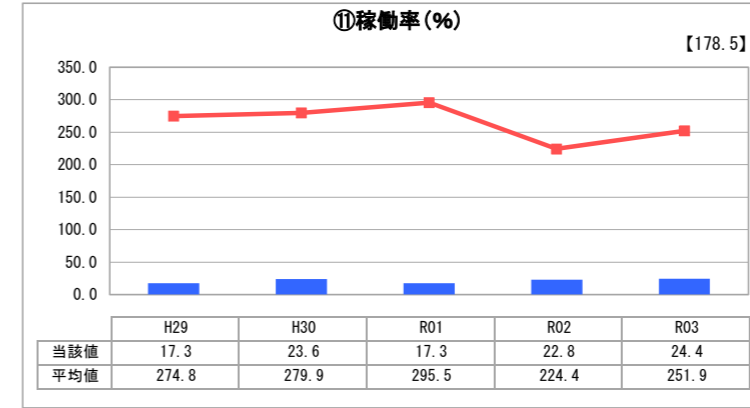
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和3年度全国平均

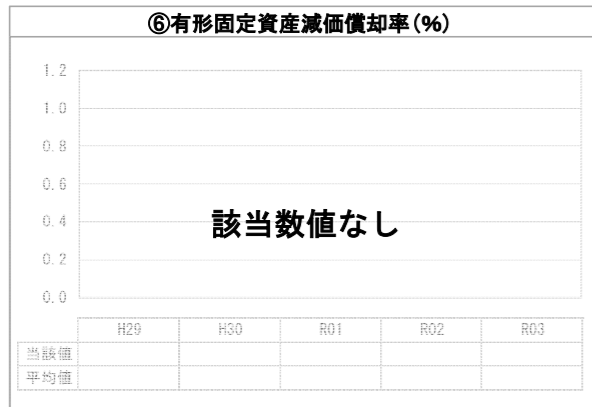
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

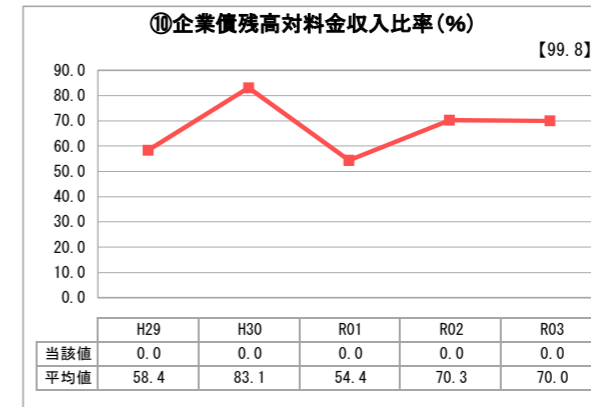
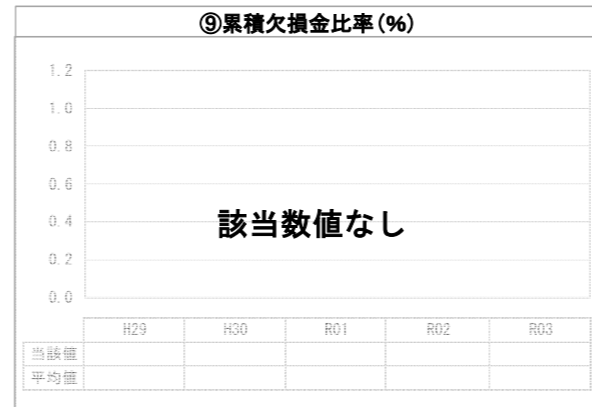


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 収入面では、平成24年度に時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を支出面では、平成26年度に出入口を機械化し、人件費の削減を図る等、収支の改善に取り組み、他会計補助比率は減少している。令和元年度より利用料金制へ変更され、運営費等は指定管理者にて賄える状態となった。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、鉄道の利用を控え代わりに自動車の利用者が増加したことにより、稼働率が上がったと思われる。

2. 資産等の状況について
 道路高架下の平面施設であり、駐車場施設に対する今後の投資の予定はしていない。

3. 利用の状況について
 稼働率が類似施設平均値を大きく下回っているのは、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。

全体総括
 令和元年度より指定管理者の利用料金制となり、運営費等は指定管理者にて賄える状態となった。類似施設平均値を大きく下回る稼働率であることから、今後は、定期利用者の増加に向けた施策に取り組むことにより、経営改善を図って行く。